

10月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
梨栽培の担い手 石原 恭

行った主な活動

古くなった樹木の伐採

生育が悪くなっていた古い樹木の伐採を行った。周囲の樹木に影響が出ないよう位置を確認しながら作業し、倒木の方向や安全面にも注意を払った。



施肥

樹勢の維持と翌年の生育を見据えて施肥を行った。木の状態や畠の場所によって必要量が異なるため、園主の方に確認しながら適した量を均等に施すよう心掛けた。肥料が固まりにならないように散布の仕方も工夫した。



活動を行った感想など

チェンソーで伐採作業を行った際、木くずが目に入り涙が止まらなくなる場面があり、安全対策の重要性を改めて感じた。次回はゴーグルの着用も検討し、より安全に作業できるようにしたい。

施肥作業は中腰の姿勢で20kg前後の袋を持ち運びながら行ったため、腰への負担が大きく、体力面の課題を実感した。今後は姿勢を意識したり、負担を軽減できる方法を考えながら作業していきたい。

今後の目標など

もうすぐ剪定作業が始まる時期になるため、昨年教わった内容を思い出しながら取り組み、スムーズに作業ができるようにしたい。剪定は翌年の樹の状態に大きく影響する重要な作業なので、基本を丁寧に確認しつつ、確実に身につけていきたい。

